

# 小児科診療 UP-to-DATE

2022年8月16日放送

## 日本語版乳幼児発達検査 J-ASQ<sup>®</sup>-3

昭和大学 リハビリテーション医学  
准教授 橋本 圭司

日本語版 ASQ-3、英語にしますと Ages & Stages Questionnaires<sup>®</sup>, Third Edition 日本語版という、お子さんの発達評価の質問紙ツールについてご説明させていただきたいと思います。

ASQは米国のオレゴン大学で開発された発達スクリーニングツールで、その第3版である ASQ-3は2009年に出版されています。これまでにスペイン語、フランス語、中国語、アラビア語、ベトナム語などに翻訳され、世界中で使用されている国際間比較も可能な評価法です。

日本では環境省による全国10万人の子どもたちとその親御さんが参加する大規模疫学調査、「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」という調査の質問紙の中で、日本語版 ASQ-3 というものが使用されています。これは2021年に医学書院という出版社から成書が出版されています。2020年に始まったコロナ禍以降、病院やクリニック発達センターなどを訪れて、発達評価を行うことに対する敷居がますます高まっているように感じます。このことから、特に病院や発達センターなどに行かなくても、いつでもどこでもご両親や療育者によって記入可能なスクリーニングツールの

### 日本語版ASQ-3; Ages & Stages Questionnaires<sup>®</sup>



米国のオレゴン大学で開発、第3版のASQ-3は2009年に出版。スペイン語、フランス語、中国語、アラビア語、ベトナム語などに翻訳され、国際間比較も可能。



#### 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)とは

- **調査目的**  
子どもの健康に与える環境要因を解明  
中心仮説…「総児期から小児期にかけての化学物質曝露が、子どもの健康に大きな影響を与えているのではないか？」
- **調査方法・規模**  
全国で「10万組の親子」を対象とした出生児の追跡調査 出生コーホート調査
- **調査期間**  
平成23年1月より3年間で参加者募集 平成23年8月1日以降  
出生予定の妊婦さん  
13年間追跡調査。
- **期待される成果**
  - ① 小児の健康に影響を与える環境要因の解明
  - ② 小児の脆弱性を考慮したリスク管理体制の構築
  - ③ 次世代の子どもが健やかに育つ環境の実現
  - ④ ライフサイエンス分野の国際競争力の確保

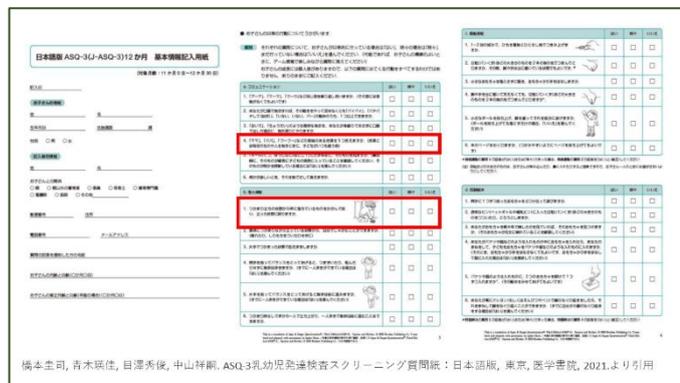


ニーズが高まっています。今回はこの ASQ-3 の概要とその活用法について解説させていただきたいと思います。

ASQ-3 ですが、月齢 1 ヶ月～66 ヶ月の乳幼児の発達状況を 5 つの領域、「コミュニケーション」「粗大運動」いわゆる運動、「微細運動」これは手先の器用さみたいなものですね。そして「問題解決」「個人・社会性」といったものに関して、後半はどちらかというと、認知やコミュニケーションということに関して、両親が主な療育者が記入して、発達の遅れを調べることができる発達評価ツールです。

日本語版 ASQ-3 は、主に 3 つの項目から構成されていて、基本情報記入用紙（表紙のようなもの）、次に質問紙（30 個の質問と総合的な評価）、自由記述の欄、最後にその評価結果を出す結果用紙から構成されています。

原著は、生後 2 ヶ月～小刻みに 60 ヶ月まで 21 種類が用意されていますが、日本語版 ASQ-3 は、先ほど申し上げたエコチル調査で使われた 10 種類です。生後 6 ヶ月、12 ヶ月、18 ヶ月で、この後 6 ヶ月おきに 5 歳まで、60 カ月までの 10 種類が用意されています。ですので、日本語版 ASQ-3 には、他の 11 種類の質問がまだありませんので、この部分はまだ使用できません。

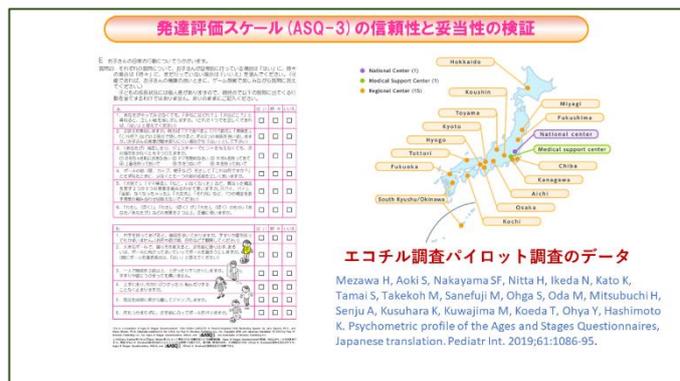


橋本直司, 青木麻住, 目澤秀徳, 中山祥嗣. ASQ-3 乳幼児発達検査スクリーニング質問紙: 日本語版, 東京, 医学書院, 2021. より引用

質問紙の回答ですが、答えていただくのは専門家ではなく、実際にお子さんを育てていらっしゃるご両親、あるいは、その児の世話をしている養育者が質問紙に回答します。5 つの領域ですが、それぞれ 6 つずつの質問があり、これが 5 領域ありますので、合計 30 項目ぐらいですから、答えるのに大体 10 分長くても 15 分ぐらいで簡単に答えられる質問紙となっています。

例えば 12 ヶ月の質問用紙の例では、コミュニケーションとなりますと、例えば「ママ・パパなどの意味のある言葉を 3 つ以上言えますか?」とか、粗大運動に関しては、「片手で掴まった状態で伝え歩かことができますか?」とか、こんな質問に対して、「はい・ときどき・いいえ」の 3 つのいずれかで答えていただきます。それぞれについて、得点が用意されていて、その合計得点から発達が正常範囲なのか、それとも少し遅いのか、そういったことを評価できるようになっています。

結果の解釈は、エコチル調査は、最終的に北は北海道、南は沖縄まで全国 10 万人のお子さんたちについて、この ASQ-3



の5歳まで調査を終えています。現状出版されているこのASQ-3の標準値というものは、このエコチル調査に先立って行われたパイロット調査というものが、この事前調査で使われた標準値が用いられています。信頼性妥当性検討といいますが、既存の対面で発達の検査をする方法が一般的ですが、その、例えば専門の心理士さんや医師などが評価をした発達検査とこの質問紙は、どちらで評価しても大体妥当性があるということが確認されています。さらには、検者間といって複数の人で評価しても大体同じような結果が出るということも、すでに証明されています。

ですから、この事前で得られた標準値と比較して、大体の平均値というのが設けられていますので、この平均値と比較して、標準偏差という言葉がありますが、標準値よりも大きく外れた場合、つまり点数が低いという場合は発達が遅いですよということになります。若干の遅れがある場合、これはグレーゾーンということになりますので、発達が遅いかどうかというと、若干遅いと注意を要するという事です。カットオフ値以上、つまり標準値よりも超えていれば、大体順調に発達しているというわけで、標準値を超えていれば順調に発達していて、カットオフ値に近

いけれど少し注意が必要という場合は観察を要する。明らかに標準値を大きく超えている場合は観察を要するというように、3つに分けて評価をしています。ですので、5つの領域がありますので、それぞれの項目で、例えば運動だけが遅いとか、運動は大丈夫だけど言葉だけが遅

いとか、そういうお子さんが見て取れるわけです。これで発達が遅いからダメだとか、早いから良いとか、そういうことではなくて、客観的指標として標準と比べて、そのお子さんの発達状況がどのレベルのいるのかということを理解するツールです。

質問紙で答えて、簡単にいつでもどこでもできますので、最終的にはアメリカではオンラインで、例えばスマホなどで質問に答えて集計もできるような仕組みがあるようです。今、日本ではこの出版物だけで、紙で書く、あるいはダウンロードして、そこに手で記入して答えるという方法しかありませんが、将来はできればスマホやパソコンから入力して提出することができ、基準値と照らし合わせて発達が順調なのか、注意を要するのか、あるいは明らかに遅いのか、そういうものを簡便に理解すること、フィードバックを受けることができるような仕組みができると良いと思います。

発達検査や知能検査というと非常に難しいもの、それを受けるには非常に敷居の高いものとい



**ASQ Online**  
Home / ASQ Online

**Build a Better Screening System with ASQ Online**

Building a successful screening program is a critical step toward supporting healthy development for all young children. But with so many elements to juggle, developing a high-quality program that runs without a hitch can be a challenge.

**ASQ® Online is the answer.** With efficient data management, online questionnaire completion, and powerful reporting abilities, ASQ Online helps you build a smooth and streamlined program that screens every child and supports every parent.

[See a demo](#) [Build your plan](#)

<https://agesandstages.com/asq-online/>

う印象があるかもしれませんが、これからの時代は、こういった簡便にいつでもどこでもだれでも、特に親御さんで評価をして、簡単に理解することのできるようなツールが望まれていると思います。

今日は、日本語版 ASQ-3 という新しい時代の発達評価ツールについてご紹介させていただきました。

「小児科診療 UP-to-DATE」

<http://medical.radionikkei.jp/uptodate/>